

YZ250FX

Power Tuner Setting Manual

パワーチューナーセッティングマニュアル

■ Power Tuner

FIは、エンジン温(冷却水温度)、外気温、大気圧など刻々と変化する状況に対し、スロットル開度、吸気温、冷却水温度、大気圧力、吸気圧力などの各センサーから情報を収集し、これをもとに適切な噴射量を演算して燃料噴射を行います。

これを支えるのが「燃料噴射量マップ」と「進角特性(点火時期)マップ」ですが、「Power Tuner」は、この2つの三次元マップを操作することにより、「低中速を濃くしてトルクが欲しい」、「点火時期を早めレスポンスを高めたい」といった好みや、コース状況に合わせて詳細なセッティングを行うことができます。なお、作成したデータは、オリジナルマップとして最大9種まで保存でき、マシンのカプラーに「Power Tuner」を接続してデータを送信すればセッティングは完了します。

■ ライディングスタイル別 提案マップ

YZ250FX

MILD POWER MAP (マイルドタイプ)

低速から高速域まで穏やかな出力特性としたセッティング。スロットルを開けやすく、急激な操作に対してもマイルドなフィーリングをキープし、競技用モデルの初心者の方でも扱いやすくなっています。

FI		
-5	-5	-5
-6	-5	-4
-6	-6	-4

IG		
-5	-6	-6
-6	-5	-5
-9	-6	-4

TORQUE FEEL MAP (トルク重視タイプ)

全回転域で大きなトルク感を得られるセッティング。コーナーでの立ち上がりや登りなど、常に力強いトラクションを重視したライディングスタイルに向いています。しっかりと路面をつかみながら確実かつ素早い加速を達成します。

FI		
+2	+3	+0
+2	+2	+2
+2	+2	+2

IG		
-2	-2	-4
-2	-5	-5
-2	-4	-4

HIGH REVVING MAP (回転上昇重視タイプ)

アクセルワークに対して素早い回転上昇を重視したセッティング。コーナーを含め全開をキープしながら高回転を多用するアグレッシブなライディングスタイルに向いています。

FI		
-2	0	0
-3	-3	-1
-2	-3	-2

IG		
+2	+1	0
+2	+2	0
+2	+2	0

YZ250FX

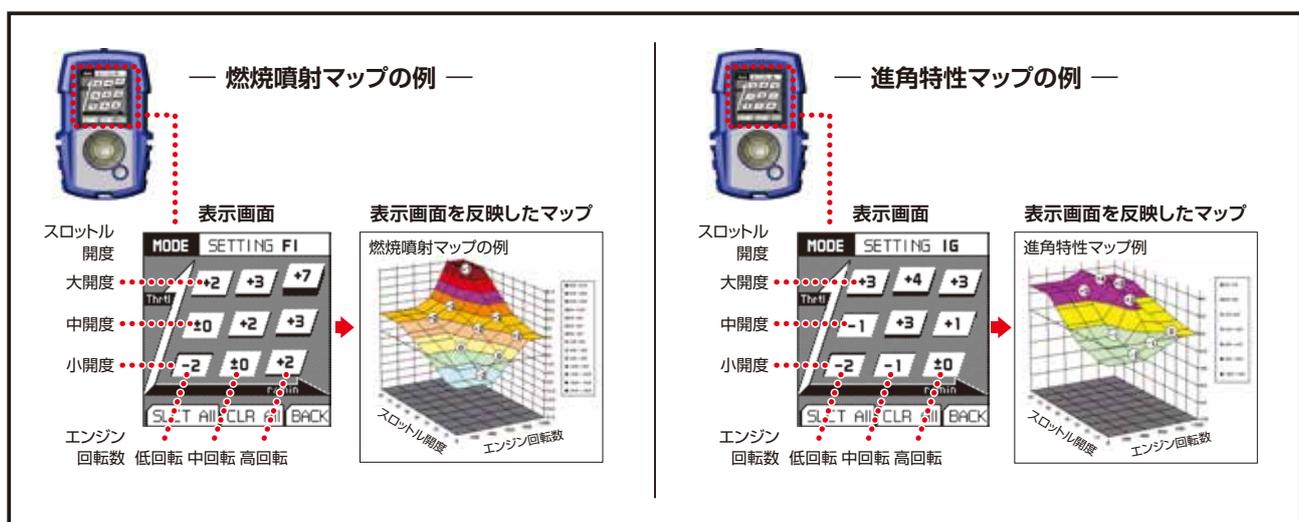
Power Tuner Setting Manual

パワーチューナーセッティングマニュアル

■ マップ調整

「燃料噴射量」と「進角特性」ともに、スロットル開度3ポイント（縦軸）、エンジン回転数3ポイント（横軸）とし、この組み合わせで3×3の9ポイント、マップは2つあるため合計18ポイントで調節が可能です。

燃料噴射 (FI) の調整幅は、9点の各ポイントを基準値 (0) に対し-7から+7まで15段階。進角特性 (IG) の調整幅は、9点の各ポイントを基準値 (0) に対し-9から+4まで14段階。



■ 自然条件とセッティングの方向性

FIシステムは、外気温等の環境変化に対しセッティングを自動調整しますが、外気温が非常に高い(低い)場合や、標高が高い場所などでパワー感が通常と異なると感じた場合は、燃料噴射量を調整してください。

気温	湿度	気圧(標高)	混合気	セッティングの方向性
高い	高い	低い(高い)	濃くなる	薄くする
低い	低い	高い(低い)	薄くなる	濃くする

ポイント

混合気の濃い薄いは、空気の密度(酸素濃度)に左右されます。

- 気温が高いと空気は膨張して密度が減少する。
- 湿度が高いと空気中の水蒸気分だけ酸素濃度が減少する。
- 気圧が低い(標高が高い)と空気密度が減少する。